

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題 2 暮らしを守る福祉等の向上

めざすべき将来像

健康寿命を延ばし、一人ひとりがいきいきと地域社会の中で生活できるまちをめざす。障がいをお持ちの方や高齢者の皆様などの居場所・持ち場をつくり、誰もが自分らしく、安心してともに暮らせるまちをめざす。

戦略 2-1 健康寿命を延ばす取組

- ・医師会・歯科医師会・薬剤師会等区内の関係団体と協力し、健康に関する興味・動機づけを行える催し（あさひ健康フェスタ）を開催する。
- ・介護予防のため、「いきいき百歳体操」の新規立ち上げや運営を支援する

戦略 2-2 誰もが暮らしやすいまちづくりの取組

複合的な課題のある要援護者や、深刻化するまで気付かれない要援護者等、対応の難しい課題が増加している中、福祉関係機関やNPO法人、ボランティア団体等のネットワークを強化し、地域住民とも連携して見守りや支援の体制を整える。

17

項目	内容	有効性
戦略 2-1	健康寿命を延ばす取組	ア
具体的 取組	1 健康づくりの支援	一
	2 高齢者の活力向上 支援	一

項目	内容	有効性
戦略 2-2	誰もが暮らしやすい まちづくりの取組	ア
具体的 取組	1 誰もが活躍できる 仕組みの確立	ア
	2 高齢者相談機関等の 啓発	ア
	3 旭区バス運行事業補助	ア

ア：有効であり、継続して推進
イ：有効でないため、取組を見直す
ー：プロセス指標未設定(未測定)

18

経営課題2 暮らしを守る福祉等の向上

1 健康寿命を延ばす取組

具体的取組1 健康づくりの支援

指標

あさひ健康フェスタの参加延べ人員

目標値 500名以上

達成状況 未測定

取組実績

- 令和2年2月に開催予定のあさひ健康フェスタは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止
- がん検診の案内を区広報紙に掲載（11回）
各種がん検診受診者数：胃がん390人、大腸がん583人、肺がん578人、乳がん443人
- 要介護者に対して歯科医師による訪問健診を実施 3人

課題や改善策

【課題】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、状況により実施できない場合の対応について検討する

【改善策】

あさひ健康フェスタの趣旨内容を実行するために、新たな手法を検討するなど健康づくりをサポートする



啓発ポスター

令和2年度の主な取組

- 区民の健康意識の高揚を図るため、医師会・歯科医師会・薬剤師会及び地域活動協議会等の各種団体と連携して健康フェスタを開催
- 区民の健康寿命延伸のため、がん検診受診について区広報紙等で周知

19

経営課題2 暮らしを守る福祉等の向上

1 健康寿命を延ばす取組

具体的取組2 高齢者の活力向上支援

指標

いきいき百歳体操参加者アンケートで、筋力の維持増進に繋がっていると答えた割合

目標値 80%以上

達成状況 未測定

取組実績

- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止により元年度中の測定を中止
- いきいき百歳体操
39グループ（前年度8増） 参加者数 959人（前年度128増）
- 認知症予防プログラム
継続グループ数 10（前年度3増）、継続者数61人（前年度25増）



百歳体操

令和2年度の主な取組

- 「いきいき百歳体操」のグループ数や参加者数の増加をめざし、次の支援を行う。
 - 新規立ち上げグループへの指導
 - 先進的事例の共有等のために代表者の意見交換会を開催
 - 「いきいき百歳体操」普及のために「あさひ健康フェスタ」において90歳以上の「いきいき百歳体操」参加者を表彰

健康大学を開催し、健康づくり・食育推進のリーダーを養成して、健康のための自主管理の方法を広く周知
認知症予防の自主活動育成を目的とした「地域型認知症予防プログラム」を実施し、自主活動を支援

20

経営課題2 暮らしを守る福祉等の向上

2 誰もが暮らしやすいまちづくりの取組

具体的取組1 誰もが活躍できる仕組みの確立

指標

福祉関連のイベントや
学習会等において
実施するアンケートでの満足度

目標値 70%以上

達成状況

「就学進学なんでも相談」
…「参考になった」80%
「子育て応援セミナー」
…「非常に参考になった」70%

取組実績

- 「旭区地域福祉計画」（令和2年度策定）を作成
- 千林ふれあい館に設置した「あさひあったかきちサテライト」及び区役所庁舎において1回/月、障がい者福祉事業所の授産製品を販売（5月～）
- 「就学・進学なんでも相談」（元年6～7月）を実施
- 「子育て応援セミナー」（元年8月24日）を実施



障がい者福祉事業所の授産製品販売

令和2年度の主な取組

- 障がい者福祉事業所の授産製品の物販や、作品展示等の場を提供し、活動を周知
- 「障がい者週間」（12月3日～9日）に開催される座談会や交流会を通じて、啓発活動を実施

21

経営課題2 暮らしを守る福祉等の向上

2 誰もが暮らしやすいまちづくりの取組

具体的取組2 高齢者相談機関等の啓発

指標

高齢者の相談機関「地域包括支援センター」の認知度《区民アンケート》

目標値 60%以上

達成状況 50.7%

取組実績

- 2年3月に「旭区認知症ガイド」を一部改良し発行
- 高齢者福祉月間及び世界アルツハイマー月間である9月に、広報あさひの特集号で認知症の啓発記事と共に関係相談機関の周知。



旭区認知症ガイド

課題や改善策

【課題】

「地域包括支援センター」の認知度は、昨年度（46.3%）より上昇しているが、引き続き認知度を高める必要がある。

【改善策】

- 地域包括支援センターの役割の情報発信に努める。
- 高齢者を含む要援護者の見守りのツール「お守りカード」を作成し、相談機関などを通じて各世帯への普及を図る。

令和2年度の主な取組

- 高齢者等の要援護者が地域で安心して暮らせるよう、見守りツール「お守りカード」を作成・配布
- 9月の高齢者月間に併せて、広報あさひ特集号で相談機関等を周知

22

経営課題2 暮らしを守る福祉等の向上

2 誰もが暮らしやすいまちづくりの取組

具体的取組3 旭区バス運行事業補助

福祉割引 半額（介護人1名半額）
各種手帳・証明書等をご提示ください

指標

1カ月平均の利用人数

目標値 平均7,000人以上

達成状況 平均6,619人

取組実績

区内交通アクセス確保のため、バス路線運行に必要な経費の一部の補助をおこない、年間を通じてあさひあったかバスを運行

課題や改善策

【課題】

公共交通機関となるため、新型コロナウイルスの感染症拡大防止による外出自粛の影響を大きく受ける。

【改善策】

新型コロナウイルス感染症が再び拡大した場合や新しい生活様式による影響は今後も考えられるが、地域の生活に必要な移動手段として、引き続き需要の状況等も確認しながら運行する。

運賃 おとな100円・こども50円

(6歳以上12歳未満)

運賃無料 大阪市が発行する
敬老優待乗車証・無料乗車証
ハッキリとご呈示ください

母子手帳提示で無料になります
妊娠婦の方・乳幼児連れの保護者の方

ご利用いただけません
・ピタパ・イコカ等ICカード
・エンジョイエコカード
・大阪周遊バスなど企画乗車券



令和2年度の主な取組

高齢者等に対する区内交通アクセスの確保を目的とした補助事業を継続実施